

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|---------------------------|---------|---|--|--|------|
| 1 | 観光物産拠点整備強化事業 | H24～H25 | 物産館整備に伴い、多くの観光客等の来訪者が予想されるが、既存の駐車場においては、駐車スペースが手狭なため、駐車場の拡張等を行う。 | 地域物産館駐車場整備拡張工事の実施・完了 | 地域物産館駐車場整備拡張工事の実施・完了 | |
| | 市域景観形成強化事業 | H24～H26 | 魅力的な観光地、まちづくりを形成するため、市内の道路・歩道のカラー舗装、コンクリート吹付等の工法用いて、市道の景観形成を行う。また周辺の空きスペース等には地域住民による色彩豊かな花の植栽等の緑化活動を実施する。 | 市道植栽帯防草工事実施 整備路線2か所(整備延長 L=0.8Km) | 市道植栽帯防草工事実施 整備路線2か所(整備延長 L=0.8Km) | |
| | 海外移住者子弟研修・国際交流推進事業 | H24～H25 | 本市と移住国との国際交流を推進するため、本市出身の海外移住者子弟の研修生を受け入れ、本市の文化・伝統・各種技術等の研修や研修生と市内小中学校との交流授業を行う。 | 海外移住者子弟の研修生受入実施 ・アルゼンチン共和国研修生1名受入 | アルゼンチン共和国研修生1名受入 | |
| | 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備事業 | H24～H26 | 散策道、木製階段等を整備し広く一般公開することにより、世界遺産「斎場御嶽」の更なる魅力を伝え、観光客等誘致促進を図る。 | 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・遺構検出及び測量 ・土質及び地下水調査 | 世界遺産「斎場御嶽」周辺整備 ・遺構検出及び測量 ・土質及び地下水調査 | |
| | なんじょうハートプロジェクト推進事業 | H24～H25 | 地域資源を活かした南城市のイメージアップを図るため、南城市の地形である「ハート」を一体的に捉えたまちづくり、市キャラクター「なんじい」を活用したグッズ等による観光PR等を実施する。 | ・商品パッケージの開発(2品目以上) ・PRグッズ等の制作(3点以上) ・PRイベントへの誘客(3,000人以上) ・ラッピングカーでの出動回数(10回以上) | ・商品パッケージの開発(3品) ・PRグッズ等の制作及び配布(8点) ・PRイベントへの誘客(19,500人) ・ラッピングカーでの出動回数(76回) | |
| | 南城ツーリズム「元気を取り戻す旅」誘客モニター事業 | H24～H25 | 本市の特徴を活かしたメンタルヘルス対応の社員研修のモニターツアーを行い、体験滞在交流型観光を推進する。 | モニターツアー実施 1回 (県外企業の社員20名受入) | モニターツアー実施 3回 (県外企業の社員60名受入) | |
| | 尚巴志関連展開調査事業 | H24～H25 | 観光客等の誘客を促進するため、琉球王国を興した尚巴志に関連する事業展開の可能性やその戦略についての調査研究を行い、尚巴志関連事業展開基本プランを確立する。 | 尚巴志関連事業の展開可能性調査を踏まえた基本プランの策定 | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|------|-------------------------|---------|---|---|--|------|
| 事業番号 | 事業名 | | | | | |
| | スポーツツーリズム推進事業 | H24～H26 | 本市陸上競技場はスポーツキャンプ等が数多く開催されており、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図るため、天然芝の良質な状態を保持を図り、芝生管理を図るための人材を育成する。 また、透水性の乏しい芝生フィールドの排水設備整備を行い、スポーツキャンプ受入れに適した施設整備を行う。 | 芝生維持管理に精通した人材の育成 フィールド内暗渠排水整備 | 芝生維持管理に精通した人材の育成 1名 フィールド内暗渠排水整備 1件 | |
| | 観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想) | H25 | 住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。 | 観光交流拠点施設の実施設設計及び整備工事 | - | 繰 |
| | 観光交流サイン整備事業 | H25～H29 | 来訪者にとってわかりやすい誘導案内や周辺案内、解説板、名称板等のサインを整備することにより、スムーズな案内誘導を進めるとともに都市景観の向上や、歴史文化遺産の顕在化と魅力の充実、市民と来訪者との交流促進、観光の振興を図る。 | 各字調査(63字) 整備計画書の策定 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定 観光案内板の整備:20ヶ所 | 各字調査(63字) 整備計画書の策定 道路愛称選考委員会の設置 道路愛称の決定 観光案内板の整備:22ヶ所 | |
| | 奥武島体験交流施設整備事業 | H25 | 漁業が盛んな玉城奥武島に体験交流施設及び農水産物直売店を整備し、島の豊かな自然を活かした体験プログラムを実施し、観光客等の誘客促進及び島の活性化を図る。 | 奥武島体験交流施設の建設 | - | 繰 |
| | デマンド交通実証実験事業 | H24～H27 | デマンド交通の運行実施計画案(H24策定)に沿って、試験運行(H25～H27年度)を実施しながら、必要車両台数、運行時間の分析と既存交通機関との連携等について検討し、南城市型の交通システムの確立を図る。 | ・地域公共交通会議の開催(3回) ・運行管理システムの構築 ・試験運行の実施 (登録者数:830人 延べ利用者数:100人/日) | ・地域公共交通会議の開催(3回) ・運行管理システムの構築 ・試験運行の実施 (登録者数:1,144人 延べ利用者数:57.8人/日) | |
| | 南城市観光誘客対策事業(お新下り活用事業) | H25 | 平成24年度に南城市まつりで実施したお新下り再現事業の備品等(衣装・道具類)を活用し、県外での観光客の誘客及び南城市特産品の販売促進を図る。 | 聞得大君お新下り～古の島祈りのしま琉球～公演来場者数 500名 | 聞得大君お新下り～古の島祈りのしま琉球～公演来場者数 450名 | |
| | 第二次コミュニティFM放送施設整備事業 | H24～H25 | 南城市では、平成24年度に総合防災情報を補完するとともに観光客等へ防災情報等を伝達するため、コミュニティFM放送の施設整備を行ったが、一部地域で電波の不感地域があることから、これを解消するため、市内全域の電波調査及び解消工事を実施する。 | 市内の電波受信可能エリア 95% | - | 繰 |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----------------------|---------|--|---|---|------|
| | 南城市ハーブフェスティバル観光客誘客事業 | H25 | 南城市はハーブの一種である「ウコン」の発祥地であり、ハーブを活用した健康食品製造業者も存在します。今年の11月22日に「第21回全国ハーブサミット南城市大会」を開催することが決定しており、南城市では11月22日から24日までの3日間、「南城市ハーブフェスティバル」を同時開催します。期間中の観光客の更なる誘客を図り、県内外に南城市のハーブ産業をPRする目的でイベントを開催する。沖縄県内では初めてとなる「プロジェクションマッピング」の開催と、「高輝度蓄光材料」を使用して幻想的な空間の演出を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・期間中の観光客誘客総数：1万人 ・南城市のハーブ産業のPR (新聞告知、ラジオ出演、チラシ配布) ・「プロジェクションマッピング」や「高輝度蓄光材料」を使用したハーブPRイベントの開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・期間中の観光客誘客総数：15,725人 ・南城市のハーブ産業のPR (新聞告知、ラジオ出演、チラシ配布) ・「プロジェクションマッピング」や「高輝度蓄光材料」を使用したハーブPRイベントの開催 | |
| | 観光振興将来拠点地整備事業 | H25～H28 | 本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計業務(測量、地質調査、環境調査)の実施 ・用地取得(15,000㎡)の実施 | - | 繰 |
| 2 | 雇用サポートセンター就労支援事業 | H24～H25 | 新たな雇用の機会を創設するため、就労を希望する市民を人材として登録し、人手不足に悩む農家や事務所等に人材情報を提供する。 | 雇用創出サポートセンター登録数(100人) | 雇用創出サポートセンター登録数(150人) | |
| 3 | 平和発信プロジェクト事業 | H24～H28 | 戦後68年が経過し、沖縄戦の記憶が薄れていく中、改めて市民一人ひとりが平和や命の大切さを考える機会とするため、南城市独自の平和の日を制定し、講演会、コンサート等を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会参加者数 400名 ・映画会参加者数 300名 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会参加者数 431名 ・映画会参加者数 292名 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------------|---------|---|--|--|------|
| | 糸数壕平和学習施設整備事業 | H25 | 糸数アブチラガマとは、沖縄本島南部の南城市玉城字糸数にある全長270mの自然洞窟(ガマ)で、沖縄戦当時、糸数集落の避難指定壕であった。戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となり、軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊が配属され、600人以上の負傷兵で埋め尽くされた。現在は、平和学習の場として利用され年間約11万人余の修学旅行生等が訪れているが、壕内では、天井からの漏水、壁底面からの流入水等がある。また、手摺の腐敗や劣化が起きていることから、早急に見学者の安全対策の強化及び対策を図る必要がある。 | 手摺工事の実施 | 手摺工事の完了 | |
| 4 | さとうきび優良種苗安定確保事業 | H24～H28 | 沖縄県の基幹作物であるさとうきびについては、平成6年度からの品質取引制度の導入に伴い多収性品種から高糖性品種への転換が推進されている。安定した農家所得の向上、さとうきびの生産向上を図るため、優良品種作付の普及を推進する。 | さとうきび優良種苗植付面積(アール)2040a 夏植:600a 春植:1,440a | さとうきび優良種苗植付面積(アール)1964.2a 夏植:601a 春植:1,363.2a | |
| | 蔬菜花卉園芸施設整備事業 | H24～H28 | 産物の安定生産、農家所得の向上を推進するため、施設栽培を奨励し、ビニールハウス導入経費を助成する。 | 既存ハウス等施設の整備:20ヶ所 | - | 繰 |
| | 漁港巻上機・施設機能強化事業 | H24～H25 | 水産業の振興を促進するため、巻き上げ機施設の機能強化事業を実施する。 | 海野上下架可能漁船の台数:9隻 | 海野上下架可能漁船の台数:14隻 | |
| | 全国ハーブフェスティバル(ハーブ普及・促進事業) | H25 | 南城市産ハーブ商品の展示、即売会、ハーブカフェ、講演会等ハーブに重点を置いたハーブフェスティバル(サミット)を開催し、農業の振興を図る。 | 来場者数:300名 | 来場者数:327名 | |
| | 水溶性天然ガス利活用案策定事業 | H25 | 市内から採掘される水溶性天然ガスを利用した、一次産業分野への利活用案を策定する。 | 南城市水溶性天然ガス利活用案策定報告書の作成 | 南城市水溶性天然ガス利活用案策定報告書の作成 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 事業番号 | 事業名 | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--|------|-------------------|---------|---|---|---|------|
| 5 | | | 災害に強いまちづくり推進事業 | H24～H25 | 災害が発生した場合の住民や観光客への安心安全を確保するため、海拔表示板を設置する。 | 海拔表示板の設置(270ヵ所) | 海拔表示板の設置(420ヵ所) | |
| | | | 台風・大雨浸水被害対策事業 | H24～H26 | 災害に強いまちづくりの実現を図るため、地域の排水路における雨水の流入・流出ルート調査を実施する。 | 西部地区雨水流域調査(調査面積 810ha) | 西部地区雨水流域調査(調査面積 810ha) | |
| | | | 観光客及び市民向け放送拡張事業 | H25 | 防災情報インターフェイスサーバーを介して自動連携させることにより、24時間対応でJ-ALERT検知した災害緊急情報を即時に観光客等へ配信し、市民や観光客等の安全、安心を確保する。 | インターフェイスサーバー構築及びシステム構築 | インターフェイスサーバー構築及びシステム構築完了 | |
| 6 | | | 太陽光採光システム普及事業 | H24～H25 | 環境にやさしい南城市のまちづくりを推進するため、自然エネルギー・再生可能エネルギーの普及拡大、沖縄の豊かな太陽光を利用した照明システムを企業及び一般家庭等へ導入する。 | 太陽光採光システムの設置台数 100台 電気使用量削減量 4,200kw | - | 繰 |
| 7 | | | 英語コーディネーター配置事業 | H24～H25 | 国際性豊かな人材を育成するため、外国人や英会話能力の優れた講師を教育委員会に配置し、英語教諭及びALT等への授業改善や、小学校において英語の授業を実施する。 | 支援園児・児童数: 幼稚園1クラス13人、小学校4クラス(1～4年生)105人 | 支援児童・生徒数: 1幼稚園支援園児数13名 1小学校支援児童数106名(4クラス) | |
| | | | 幼小中学校学習教室空調設備整備事業 | H24～H25 | 児童・生徒の感受性豊かな人格形成を図るため、夏場においても、安全・快適な学習環境を保持できるよう空調設備を整備する。 | 空調機設置工事 (幼稚園 保育室 4室 6台 小学校 理科室 1室 2台 中学校 家庭科室 2室 5台 音楽室3台 美術室 2台) | 空調機設置工事完了 (幼稚園 保育室 4室 6台 小学校 理科室 1室 2台 中学校 家庭科室 2室 5台 音楽室3台 美術室 2台) | |
| | | | 受水走水田園体験事業 | H24～H25 | 将来を担う感受性豊かな児童の育成を図るため、沖縄の稲の発祥地とされる受水走水において、体験学習プログラムの一環として稲栽培を実施する。 | 田園体験学習参加者 448人 | 田園体験学習参加者 448人 | |
| | | | スポーツ・文化活動県外派遣事業 | H25～H29 | 離島県である沖縄の地理的条件により、県外への大会派遣については多大な負担があるため、費用の一部を助成する。負担を減らす事で、県外への派遣の機会を増やし、次代を担う児童生徒の可能性を引き出し、教育の振興、学力向上を図る。 | 県外派遣実績 25件 | 県外派遣実績 21件 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|----------------------|---------|---|---|---|------|
| | 小中学校パソコン機器整備事業 | H25～H29 | 情報化社会に即応した技能を身につけ、児童・生徒の学力向上を図るため、小・中学校にパソコン機器等を整備する。 | 市立小中学校へのパソコン機器等の整備(パソコン計302台) | 市立小中学校へのパソコン機器等の整備完了(パソコン計255台) | |
| | 学習支援員配置事業 | H25 | 一斉指導による学習についていけない児童・生徒への教科支援として、習熟度別の学習形態や個別課題としての反復練習・反復訓練や実物の教材・教具による学習、パソコン学習の取り入れにより学習意欲の回復を図る。 | 小学校: 8校、支援児童数294名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の児童を支援する。) 中学校: 4校、支援生徒数135名 (支援員1名当り週25時間授業を行う。 1授業当たり3名程度の生徒を支援する。) | 8小学校、支援児童数223名 4中学校、支援生徒数158名 | |
| | 学習支援教材ソフト導入事業 | H25～H28 | 市内各小中学校へ、学習支援教材ソフトを導入しICT環境を整備することにより、児童・生徒の学力の向上を図る。 | デジタル教科書導入率の向上 ・市内9小学校: H24年度4%(7冊) H25年度100% (必要冊数:9校×20冊=計180冊) ・市内5中学校: H24年度48%(53冊) H25年度100% (必要冊数:5校×22冊=計110冊) | デジタル教科書導入率の向上 ・市内9小学校 100% ・市内5中学校 100% | |
| | 特別支援教育・障害児支援ヘルパー配置事業 | H24～H29 | 市立幼・小・中学校に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童・生徒等に対し適切な教育を行うため、特別支援教育支援員や障がい児支援ヘルパーを配置することにより学習環境の整備を図る。 | 特別支援教育・障害児ヘルパー配置数 ・幼稚園:障害児ヘルパー(保育)10名、(預かり保育)4名 ・小学校:特別支援教育支援員2名、障害児ヘルパー23名 ・中学校:障害児ヘルパー8名 | 特別支援教育・障害児ヘルパー配置数 ・幼稚園:障害児ヘルパー(保育)12名、(預かり保育)6名 ・小学校:特別支援教育支援員2名、障害児ヘルパー26名 ・中学校:障害児ヘルパー8名 | |
| 8 | 文化のまちづくり実行委員会支援事業 | H24～H25 | 地域伝統文化の継承及び観光振興を図るため、南城市文化センターを拠点に芸能公演、夏休み短期音楽スクール、ボランティア育成事業等の各種公演、研修事業を実施する。 | 下記、主要イベントを実施する。 シュガーホール発!! 地域めぐり出前ステージ 1,150名(H24年度1,100名) 8th' Jazz in Nanjo 450名(H24年度414名) 組踊スイミー 400名(H24年度 0名) 新崎誠美ピアノコンサート 400名(H24年度0名) | シュガーホール発!! 地域めぐり出前ステージ 1,150名 8th' Jazz in Nanjo 450名 組踊スイミー 400名 新崎誠美ピアノコンサート 400名 | |
| | なんじょう歴史文化保存継承事業 | H24～H29 | 本市は神の島久高島や世界遺産「斎場御嶽」、国指定文化財「グスク等」の多くの歴史遺産、琉球王朝時代から引き継がれた精神文化が今も数多く残る地域である。これら貴重な文化遺産を後世に引き継ぐことを目的になんじょう歴史文化保存継承事業を実施する。 | 専門委員会の回数 ・御嶽・グスク5回 ・資料集戦争5回 | 専門委員会の回数 ・御嶽・グスク8回 ・資料集戦争3回 | |

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「 」 「概ね達成」…「 」
 「一部達成」…「 」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「廃止(中止)」…「-」

| 南城市 | | 計画期間 | 事業内容 | H25成果目標(指標) | H25成果実績(指標) | 総合評価 |
|-----|--------------------|---------|--|---|---|------|
| | 文化センター機能強化事業 | H25～H29 | 本市における地域伝統文化及び市内イベントの拠点として文化芸術創造の発信を行っている文化センターの機能強化を図るため、ホールの音響及び照明並びに空調機器の整備を行う。 | 文化センター機能強化の整備実施 | 文化センター機能強化の整備完了 | |
| 9 | 戦災滅失戸籍等沖縄関係書類電算化事業 | H25 | 劣化が進んでいる紙原本の沖縄関係書類の滅失防止を図り、戸籍システムでの検索及び証明発行を可能とし、円滑な管理・運用を整備するため電算化を実施する。 | 戸籍システムの電算化 | 戸籍システムの電算化完了 | |
| 10 | 健康づくり支援調査検証事業 | H25～H28 | 市民への健康づくりを支援するため、健康教室等の開催、公園等への健康器具の設置及び生活習慣病予防対策、保健指導等を実施するとともに、その効果等について調査検証する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会、健康体操等の実施(24回) ・公園等への健康器具等の設置(1カ所) ・中学2年生(約500名)を対象とした調査の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・講演会、健康体操等の実施(23回) ・公園等への健康器具等の設置(1カ所) ・中学2年生(約436名)を対象とした調査の実施 | |